

科目名 (科目番号)	哲 学 (時間割参照)	教員名 椎名 清和	学科等	学部共通	選択	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			オフィスアワー		前期水5 後期金5	B217研究室	
授業概要	私たちは、自分が正しいと思っていることとは別の出来事に出会うと、驚いたり不思議に思ったり不安になったりします。哲学は、このような感覚を手がかりとして、本当に正しいことは何であるかを考える学問です。本授業では、古今東西の著名な哲学・思想を紹介し、特に、現代に生きる私たちの思考を基礎づけている学説を中心に解説します。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	オリエンテーション 考える方法	到達目標: Classroomが利用でき、システム上でレポート提出ができる。 学習内容: 授業概要等を確認し、Classroomの利用方法を学ぶ				
	2	無知の知 タブラ・ラサ	到達目標: 自分が何を知っていて何を知らないのかについて自覚的になる。 学習内容: 学びの意味や進め方について検討する。				
	3	アイデア イドラ	到達目標: 誤解のパターンを知り、現実をしっかりと見据えられるようになる。 学習内容: 「正しさ」や「正しさをゆがめるもの」について検討する。				
	4	弁証法 自然淘汰	到達目標: 「予定調和」にとらわれないようになる。 学習内容: 「進化」や「発展」について検討する。				
	5	反証可能性 プリコラージュ	到達目標: 科学「的」な言説に惑わされないようになる。 学習内容: 科学とは何かについて検討する。				
	6	脱構築 エポケー	到達目標: 無自覚になされる思考について自覚的になる。 学習内容: 内在的な思考の枠組みについて検討する。				
	7	悪の陳腐さ 権威への服従	到達目標: 思考停止することの危険性を説明できる。 学習内容: 自由意思が働かなくなる状況について検討する。				
	8	予定説 公正世界仮説	到達目標: 弱者非難バイアスについて自覚的になる。 学習内容: 「努力すれば報われる」と言えるのか検討する。				
	9	格差の原因 自己実現	到達目標: 「平等」概念と「対等」概念を区別して用いることができる。 学習内容: 同質性と異質性について検討する。				
	10	第二の性 疎外	到達目標: 社会構造からもたらされる自己抑圧について自覚的である。 学習内容: 差別や社会的排除について検討する。				
	11	ルサンチマン 認知的不協和	到達目標: 人間の思考が、どのように「合理化」されるのか説明できる。 学習内容: 人間の思考の合理化について検討する。				
	12	ロゴス・エトス・パトス アンガージュマン	到達目標: どのようにすれば人間の行動が変容しやすいのかを説明できる。 学習内容: 「納得」と「説得」の違いを検討する。				
	13	マキャベリズム リバイアサン	到達目標: リーダーシップや望ましい社会のあり方についての知見をもつ。 学習内容: 目的の正しさが手段を正当化するかどうかを検討する。				
	14	悪魔の代弁者 他者の顔	到達目標: 意思決定の質を高めるための要素を説明できる。 学習内容: 自分と異なる価値観等との向き合い方を検討する。				
15	パラダイム・シフト 未来予測	到達目標: 未来と現在の関係を説明することができる。 学習内容: 「新しさ」や「未来」について検討する。					
成績評価の方法・基準	第2回～第15回までの14本の小レポートの合計(100%)で評価します。再試験は実施しません。						
教科書	武器になる哲学 人生を生き抜くための哲学・思想の キーコンセプト50	山口周	KADOKAWA				
参考図書	哲学用語図鑑 続・哲学用語図鑑 中国・日本・英米(分析哲学)編	田中正人【著】 斎藤哲也【編・監修】 田中正人【著】 斎藤哲也【編・監修】	プレジデント社 プレジデント社				
教員からの メッセージ	状況の正確な洞察や批判的思考のための枠組みのひとつを手に入れられるようにしたいと思います。小レポートはコメントを付してシステムにより返却します。 なお、受講生の人数や進度等により、授業内容の一部を変更する場合があります。						